

印刷 / 版画 / グラフィックデザインの断層 1957-1979

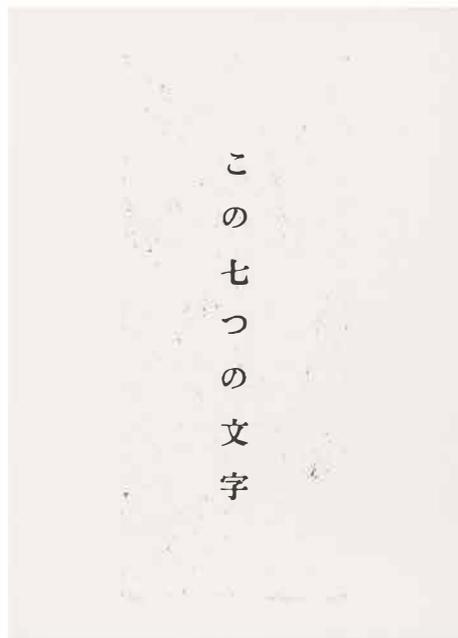
TECTONIC SHIFTS IN  
PRINTING,  
PRINTMAKING  
AND  
GRAPHIC DESIGN  
1957-1979



2024年5月30日(木) - 8月25日(日)  
May 30 - August 25, 2024

京都国立近代美術館  
[岡崎公園内] 4階コレクション・ギャラリー  
The National Museum of Modern Art, Kyoto

開館時間 / 10:00-18:00  
入館は閉館の30分前まで 金曜日は20:00まで開館 (5月31日、6月7日、8月23日を除く)  
休館日 / 月曜日 (ただし7月15日、8月12日は開館)、7月16日、8月13日  
主催 / 京都国立近代美術館、国立工芸館 協力 / 国立アトリサーチセンター



マス・コミュニケーション時代が到来した戦後の日本では、印刷技術の飛躍的な発展とともに美術と大衆文化の結びつきが一層強まり、複製メディアによる表現が関心を集めました。印刷／版画／グラフィックデザインという領域は近接し重なり合いながらも決定的なズレのある、まるで〈断層〉のような関係性であり、その断層の意味を積極的にとらえ直して自在に接続したり、あるいはその差異を強調するようなさまざまな実践が展開されていきました。

その舞台の一つとなったのが「東京国際版画ビエンナーレ展」です。同展は世界各国から作品を集めた国際的な規模の版画展で、1957年から1979年まで東京国立近代美術館、京都国立近代美術館などを会場に全11回が開催され、当時の気鋭の版画家やデザイナーの活躍の場となりました。とりわけ関西では、「デモクラート美術家協会」出身の作家たちを先駆として「版画概念の拡張」を探究する独自の方向性が生まれ、同時代の美術動向とも共鳴しながら展開していきました。

本展は東京国際版画ビエンナーレ展の出品作家を中心に、同時代の多様な視覚表現のなかに交錯した版画とグラフィックデザインの様相を通して、印刷技術がもたらした可能性とその今日的意義を改めて検証します。

- 観覧料** 一般：430 (220) 円 大学生：130 (70) 円
- \* ( ) 内は20名以上の団体料金および夜間割引料金(金曜18時以降)。
  - \* 高校生以下、18歳未満および65歳以上、心身に障がいのある方と付添者1名、母子・父子家庭の世帯員の方は無料(要証明)。
  - \* 本料金でコレクション展もご覧いただけます。

**展覧会関連イベント**

当館ホームページをご確認ください

**同時開催の展覧会：**

倉俣史朗のデザイン  
——記憶のなかの小宇宙  
2024年6月11日－8月18日

**アクセス**

- [バス] 京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ  
「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車 徒歩約5分  
「東山二条・岡崎公園口」下車 徒歩約10分
- [電車] 地下鉄東西線「東山駅」下車 徒歩約10分
- \* 当館には駐車場がありません。近隣の有料駐車場をご利用ください
- \* 岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。

表:井田照一《The Spy Surrounds the Spy》1974年 K 1:池田満寿夫《夏1》1964年 T 2:木村秀樹《鉛筆2-3》1974年 K 3:野田哲也《日記1968年9月11日》1968年 T 4:高松次郎《日本語の文字》1970年 T 5:横尾忠則《「第6回東京国際版画ビエンナーレ展」ポスター》1968年 C 6:杉浦康平《「第8回東京国際版画ビエンナーレ展」ポスター》1972年 C T=東京国立近代美術館蔵、C=国立工芸館蔵、K=京都国立近代美術館蔵



**京都国立近代美術館**  
[岡崎公園内]



〒606-8344  
京都市左京区岡崎円勝寺町  
電話 075-761-4111

<https://www.momok.go.jp/>

